

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105099
法人名	医療法人 松柏会
事業所名	グループホーム てまり
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町441番地 (電話) 099-284-4800
自己評価作成日	平成26年11月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鉄筋コンクリート造、二階建ての二階部分に2ユニットがあるため広々とした空間である。中山バイパス沿いのリビングからは山々や街並みを一望できる景色となっています。同敷地には、同法人のTsukasa Health Care Hospital (診療内科・精神科・神経内科) や介護老人保健施設フレンドホームがあり入居者の体調に応じて専門的な医療や介護を受けることができます。季節に応じた行事やボランティア等の受け入れも行っており入居様が楽しく安心して生活ができるようスタッフ一丸となってケアに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・広い敷地内に、母体医療機関を始め、介護老人保健施設等の関連施設及び事業所があり、それぞれの行事に参加したり防災訓練等を合同で実施する等、日頃から連携・協力体制が築かれている。

・ユニット間は広い廊下で繋がっており、自由に往来やソファー等で一緒に過ごしたりできる開放的な造りとなっている。職員も合同の申し送り等でホーム全体を把握しており、一体的なホームの運営がなされている。

・管理者は職員から提案された意見等を活かし、外出時に福祉バスを利用する等、外部の協力も得ながら積極的にサービスの向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員の目が届きやすい事務所、リビングに掲示している。	理念を地域密着型サービスの考えに基き見直し、事務所等に掲示すると共に2ユニット合同の朝礼で唱和し、確認しながらケアに当たっている。事務所とリビングに理念を掲示し、管理者、職員は定期的に唱和し理念を共有・確認しながら日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設施設で行なわれる行事への参加や地域のレストランの食事会、食料品の買出し、配達などしており地域との交流は続している。	法人内の施設等で実施される行事への参加や、高校生の実習やボランティアを受け入れたり地域のレストランでの外食等、様々な機会に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入居者のご家族、ボランティアの方々、実習生、見学者、同法人で行なわれる勉強会などで認知症の方の基本的な症状やケアの方法を説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催し、情報を報告し参加者からの意見を頂きながら情報交換をしている。</p>	<p>地域包括支援センター職員・民生委員・地域代表・地域のサービス事業者・家族等の出席があり、ホームからの状況報告の他意見交換を行っており、多様な立場から意見が出され、サービス向上に活かすよう取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回は、福祉課の担当者とい話しをしている。2ヶ月に1回は運営推進会議に長寿あんしん相談センターの方も出席していただき情報交換をしいる。</p>	<p>市介護保険担当者に電話相談をしたり、生活保護担当者とは来訪時に報告や情報交換を行って、協力関係を築くようにしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束を行わない旨を契約書にも記載しており、スタッフ一丸となって身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会をホームに設置しており、事故防止の為居室にマットレスを敷き詰めたり、玄関の施錠は日中はしない等、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の具体的な行為を周知し、丁寧な介護をするように指導している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際の事例はない。必要な方がいれば積極的に活用していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書、重要事項をもとに事前に説明し、本人、ご家族の方が納得して頂いてから入居する形をとっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時以外でも月に一度は、ご家族に状況を報告しご家族からの意見や要望も伺うようにしている。</p>	<p>利用者からは介護相談員を通して聞いたり直接話を聞いている。家族からは面会や来訪時に管理者等から声かけし、状況報告を行うと共に家族の要望等を聞くように努めて運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎朝の朝礼時に意見交換の場を設けている。必要と判断した場合には運営に反映している。</p>	<p>朝礼及びユニット会議で意見等を聞いており、最近では、職員から福祉バス利用の提案があり、外出計画を立てて利用している。個別相談は管理者が日常的に受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務年数や業務実績を考慮し給与水準を検討している。資格取得の研修も参加させ、希望の休みもできる限り受け入れている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員それぞれの力量を把握し更なるスキルアップの向上のために、研修会の機会を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流の機会の場を設けている。ネットワーク作りもできている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、ご家族、医療機関等と情報を交換しながら安心安全な環境を提供していくようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が不安に思っているものを聞いたり、聞きにくいことでも気軽に話していただけるような関わりができるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の生活習慣や価値観を見極めたうえでサービスの選択肢を提供している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできる事を尊重し出来ないことの支援をするように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一番の理解者をご家族であり、介護スタッフでの説明では納得されない場合がある。その時にはご家族の力が必要になるため常に連携をとりながら関わっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	面会、外出、外泊は制限していない。ある入居者の方が生花の先生だったためお弟子さんが面会に来られ思い出話を楽しんでおられた。	家族・親戚・知人等の面会が頻回にあり、いつでも受け入れ気軽に来てもらえるようにしている。墓参りや美容室には家族と出かけてもらって、関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の座席の位置やリビング以外で団欒できる場所を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談ごとがあればいつでも受け入れており家族からの近況報告の手紙や電話もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	違う意味で理解されている場合には、一度説明をし考えを変える事が困難な場合には、その方の意向に合わせてケアをしている。	利用者間の会話や家族からの情報も参考にしながら、会話や表情、仕草等から本人の思い等を把握するように努めており、申し送りノート等で情報を共有し本人の思いや意向を中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報をもとに暮らしやすい環境づくりに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の状態を観察し記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、介護スタッフ、医療機関等の関係者からの情報も参考にし計画を作成し経過をみている。	把握した本人及び家族等の意見に基づいて、職員間の会議で検討し介護計画を作成している。ケアマネージャーが6ヶ月毎にモニタリングと見直しを行ない、現状に即した計画となるように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録、業務日誌、申し送りノート等を活用していることで実践や見直しに生かされている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>体調の変化に伴いニーズも変わってくる。その時にあった適切な環境づくりやサービスを心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>歯科、マッサージ、ヤクルト、新聞等本人のニーズに合わせたサービスを提案している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人が納得できる医療機関で受診していただけるよう支援している。</p>	<p>本人及び家族の希望で、全員、かかりつけ医は協力病院となっている。専門医以外はホームで受診支援しており、ホームの看護師による医療連携体制での健康管理等を含め、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日健康管理をしており体調の変化があった場合には、ホーム常勤の看護師に相談し必要な指示を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関には、必要な情報提供を提出し利用者の生活状態がわかるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族、医療機関等と話し合いをし、本人、家族が納得いく支援を行なっている。退去後に亡くなった方のご家族からは、わざわざホームにまで出向いて来られ状況を説明していただいた方もおられた。</p>	<p>重度化・終末期の指針があり、指針に基づいて、説明を行っている。家族及び医療機関との話し合いをしながら、家族の意向に沿って支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の連絡体制や処置等の手順のマニュアルをもとに指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的にコンセントの掃除、専門業者による電気設備の点検、年2回は法人全体での避難訓練をしている。災害通報装置、スプリンクラーは設置済み。</p>	<p>法人全体で、年2回の火災避難訓練を夜間想定で実施し、そのうち1回は消防署の協力で行っている。法人内の協力体制が築かれており、非常用の備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の意向を尊重している。無理強いしてケアをすることはない。必ず納得していただける事に対してケアを行っている。	法人内で言葉使いや気配り等についての研修があり、トイレ誘導時のさり気ない声かけ等に努めている。本人の思いを尊重してケアに当たっており、記録等の保管も適正に行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が「する」「しない」と選べるように声かけをしている。本人の意向を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムを尊重しながらサービスを提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日のひげそり、季節に応じた衣替え、定期的な理美容など身だしなみには注意している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の作成した献立を参考に献立を考えるが、入居者の好きな食べ物も取り入れている。本人のできる能力に応じてテーブルふきやおぼん拭きなどを手伝ってもらう	一人ひとりの力や思いを尊重しながら、職員と一緒に下ごしらえや食事、片付けをしている。必要に応じて代替食や食事形態の工夫をしたり、行事食を取り入れて食事を楽しめるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の立てた献立表を参考に作っている。食事量や水分量など注意深く観察し記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアをしている。義歯のかみ具合がわるいときには、歯科医師に相談できる関係を築いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中と夜間のオムツの種類を変えている。本人がトイレで排泄できる方は、トイレで排泄介助している。本人の能力に応じたケアを行っている。	日中は布パンツ、リハビリパンツを主に使用し、一人ひとりの時間やタイミングを見ながらトイレ誘導を行い、排泄の自立を支援している。夜間は転倒防止等の為、ポータブルトイレやオムツを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの取れた献立、水分補給や適度な運動をすることで便秘予防につながるよう取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	月曜日～土曜日は入浴できる体制をとっている。浴室暖房がついているため冬でも暖かく入浴を楽しむことができる。	入浴は原則週3回で午前中に実施し、入浴剤を使用してリラックスしてもらえるように工夫をしている。拒否する利用者にも、タイミングを見ながら声かけし、入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の好きな時間に休息をとってもらっている。睡眠障害がある場合には、医療機関に相談し必要な医療を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容が記してある台帳がある。薬に変更がある場合には、適宜ご家族、スタッフへ報告をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の希望によって新聞やヤクルトなどの嗜好品をとっている。一人ひとりの能力に応じて家事の役割をお願いしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>簡単な嗜好品の買い物であれば敷地内にあるショップにすぐにいける。その他の外出は、家族や地域のサービスの協力を受けながら計画を立てて行っている。</p>	<p>日常的には、広い敷地内の散歩や買い物等をしており、ホームの行事で初詣や花見、外食などを実施している。また、家族と墓参りや受診等に出かけており、ホームだけでなく家族の協力も得ながら出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人やご家族の同意があればご本人の意向を尊重し所持していただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の意思を尊重している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>内装は木目調にし温かく落ち着いた雰囲気を出している。三ヶ所のトイレは全て車椅子でも対応が可能である。各居室は、エアコン、洗面台が完備しておりカーテンの代わりに戸襖を使い防音効果や室内を暖める効果がある。</p>	<p>広いリビングは外に面するガラス窓で明るく、椅子に座っていても外の景色が良く見える。ユニットを繋いでいる広い廊下は両方から利用されており、自由な往来や廊下に置かれたソファや椅子とテーブルで寛いだりできるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビング以外にも、ソファを設置しているので数人で話ができる空間がある。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、エアコン、洗面所、カーテンの代わりに戸襖を完備している。その他の家具は、ご本人の使い慣れたものを準備していただくようにしている。</p>	<p>居室にはそれぞれがベッドやダンス・椅子・仏壇・テレビなどを持ち込んだり、マットレスを床に敷いて、本人が居心地良く安全に過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>洗濯物干しやたたみ、台拭き、おぼん拭きなど一人ひとりのできる能力を把握し支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない